

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	上大瀬木地区整備事業	会計	一般会計	事業No.	551	施策順No.	11-062	
		事業種別	政策・重点	予算科目	6-1-7-36-1			
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	土木課			
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	19	終了	25

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	上大瀬木地区の農地						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		上大瀬木地区の農地面積:ha	10	10	10	10	10	
	意図	乗用農作業機械が入れる生産性の高い農地に転換させたり、車の寄りつけないような農地の荷出しを容易にすると共に、生産物の荷傷み防止、用水不足、排水不良を改善する						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	営農環境が改善された農地:ha		3	4	8	6	9	C
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		地元調整を図りながら事業を進め、工法等を検討しながら行ったことにより、おおむね目標を達成できた。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	農地の持続的活用、遊休農地の活性化、汎用性の高い農地への転換を図るため、現代型農業に不可欠な道路・水路新設及び改良事業を行う。 幹線(鳩打線) L=1,000m W=8.75m 一般市道 L=750m W=5.00m 農道整備 L=1,150m W=4.00m 水路整備 L=3,070m		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 水路整備 2 農道整備 3 幹線道路改良 4 一般道路改良	1 整備延長 2 整備延長 3 施工延長 4 施工延長	1 L=610m 2 L=1,050m 3 L=150m 4 L=221m
23年度実施計画	1 水路整備 2 農道整備 3 幹線道路改良 4 一般道路改良 5 市単土地改良事業	1 整備延長 2 整備延長 3 施工延長 4 施工延長 5 施工延長	1 L=660m 2 L=990m 3 L=50m 4 L=50m 5 L=70m

3 事業コスト

事業費	国庫支出金	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (県)農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(工事費分 国1/2, 県1/100 事務費分 国1/2) (そ)非補助土地改良事業分担金5,880千円、繰越金3,068千円 21→22繰越明許費6,260千円 22→23繰越明許費30,300千円
	特定財源	県支出金	36,667	21,217	28,325	
	起債				24,500	
	その他	8,948	8,948	12,000		
	一般財源	42,127	27,275	14,425		
	計(A)	87,742	57,440	79,250		
	正規職員所要時間			500		
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			1,788		
	トータルコスト A+B			59,228		

4 事業に対する市民や議会の意見

農家の高齢化、若者の農業離れ等の進展により、農地の保全管理が困難になり、荒廃・遊休農地の増加が一層進み地区から営農の効率化にむけ、道水路改修の強い要望が寄せられている。
また、水路等が未整備のため、下流住民への被害も想定され、地元自治会からも水路改修が要望されている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	農地の持続的活用、農地の保全 →事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	既存農業者の産出額(農業):億円
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	農地の持続的活用、遊休農地の活性化、汎用性の高い農地への転換を図るため、現代型農業に不可欠な道路・水路新設及び改良事業を実施した。		
	後期に向けた課題	要望箇所が増による、予算確保と計画的実施。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	工法の検討をし、コストの縮減。		
	後期に向けた課題	より一層の工法検討による見直しや、コストの縮減による事業促進。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	経費の縮減や再生材の使用。		
	後期に向けた課題	より一層のコストの縮減及び職員の意識向上。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	飯田市の管理する施設であり、管理者として整備を行った。		
	後期に向けた課題	引き続き管理者として関与する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	特になし。		
	後期に向けた課題	特になし。		
全体を通じて	4年間の振り返り	乗用農作業機械が入れる生産性の高い農地に転換させたり、車の寄りつけないような農地の荷出しを容易にすると共に、生産物の荷傷み防止、用水不足、排水不良が改善された。		
	後期に向けた課題	農家の高齢化、若者の農業離れ等の進展により、農地の保全管理が困難になり、荒廃・遊休農地の増加が一層進み地区から営農の効率化にむけ、計画的な水道水路改修の実施。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	------------------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------